

花巻市博物館特別展 日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展 ～ 9月30日から12月24日まで開催 ～

刊行からわずか15年で、累計発行部数900万部を超える金字塔を打ち立てた絵本「だるまさん」シリーズ。作者 かがくいひろしは50歳にして遅咲きの絵本作家デビューを果たすや、驚異的なスピードで16作品を次々と描きあげ、54歳で世を去りました。まさに彗星のごとく絵本界を駆け抜けた作家でしたが、実は彼が特別支援学校の教員であったこと、『だるまさんが』をはじめとする絵本が、障がい児教育の現場経験から生み出されたものであることはあまり知られていません。

没後初めて彼の軌跡を振り返る本特別展では、かがくいの絵本のルーツに迫ります。

特別展の概要

- 開催期間 令和5年9月30日（土）から12月24日（日）まで
午前8時30分から午後4時30分（会期中無休）
- 開催場所 花巻市博物館企画展示室
- 入館料 通常料金で観覧できます。
小・中学生無料／高校生・学生250円／一般350円
※今回の特別展に限り、小・中学生は無料となります。
※20名以上の団体は上記料金から50円引きとなります。
- 展示内容 かがくいひろしの絵画原本やアイディアノートとともに、彼が教員時代に手がけた教材や人形劇の貴重な記録など、約200点の資料を展示します。

★かがくいひろし制作紙芝居「よだかの星」を初公開します

小学校で担任の先生が読んでくれた、宮沢賢治『よだかの星』は、かがくいのお気に入りの作品でした。

かがくいが世を去る2009年元日におそらく教材用として描かれた紙芝居「よだかの星」。賢治の故郷である花巻にて初公開します。



関連イベント

◆Specialギャラリートーク

「だるまさん」シリーズほか、かがくいひろしの絵本の編集を担当した沖本敦子さんをお招きし、展示解説を行います。

日時：令和5年11月3日（金・祝）午後1時30分～午後2時30分 場所：博物館企画展示室
講師：沖本敦子氏（子どもの本の編集者、元ブロンズ新社かがくいひろし担当編集）

◆るんびにい美術館「であい授業」

「障がい」ではなく、「一人の人」を知る授業により、県内各地で「出会い・知る」ことの喜びと感動をもたらした「であい授業」を花巻市博物館でも開催します。るんびにい美術館アーティストの小林覚氏を講師にお招きします。

日時：令和5年11月23日（木・祝）午前10時から11時 場所：講座体験学習室
講師：板垣崇志氏（るんびにい美術館アートディレクター）、小林覚氏（同アーティスト）
定員：40名（聴講無料、要申込）

◆子どもたちの絵画作品展

「わたしのすきなもの」をテーマとして、花巻の子どもたちによる絵画作品展を同時開催します。

対象：岩手県立清風支援学校、市内小学校の支援学級に在籍する児童、矢沢地区幼児保育施設の年長クラスの園児
期間：令和5年9月30日（土）～12月24日（日）
場所：花巻市博物館ミュージアムストリート（企画展示室前）

◆その他、特別講演会や絵本の読み聞かせ会なども実施します。



かがくい展公式
ホームページ



博物館
ホームページ



博物館
Instagram